



学校だより

令和4年5月31日

No.3 6月号

横浜市立篠原西小学校

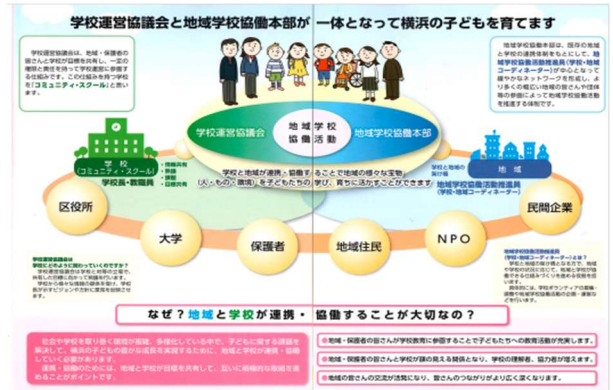
ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

横浜に住む

副校長 京楽眞次

青葉若葉の時期となりました。保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

5月13日(金)に第1回目の「学校運営協議会」を開催しました。右図にあるように学校と地域、保護者、有識者の方々が目標を共有し、連携、協働をして、一体となって篠原西小学校の子どもたちを育てていくための会になります。今年度は4回開催する計画です。より良い学校づくりに励んでまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。



5月25日、26日にはリフレット「地域とともに子どもを育む学校づくり(令和2年度版)横浜市教育委員会より」
4年生が上郷宿泊体験学習に行きました。1日目の「自然観察の森」でのウォーキングラリーでは多くの班がミッションをいくつか残してゴールしてしまうハプニングもありましたが、仲良く協力しながら歩く姿が微笑ましかったです。



2日目の「はまぎんこども宇宙科学館」でのプラネタリウム見学では、港北区からは普段見ることができない無数の星が映し出された瞬間に歓声があがりました。その感動は実際に夜空を見上げたときに生かしてほしいと思います。両日ともに天候に恵まれ、横浜市内から出ずとも自然に触れることができた素敵な2日間でした。

6月2日は横浜港開港記念日です。1859年(安政6年、14代将軍・徳川家茂、江戸時代です!)、前年にアメリカと結ばれた「日米修好通商条約」での約束に従って大型船が停泊できるように波止場を建設し6月2日に開港しました。大さん橋の原型が完成するのは、そこから35年後の1894年です。今年が開港163年目になります。5月24日のTV朝会の中で開港記念式として紹介されましたが、開港に伴い新しい文化が海外から横浜に入ってきました。有名どころでは、「牛鍋」「アイスクリーム」「食パン」「街路樹」「ガス灯」「理髪店」などが挙げられます。乗り物に目を移すと「消防車」「救急車」も横浜が発祥です。そして忘れるわけにはいかないのが「鉄道」です。鉄道は1872年に横浜と新橋の間に開業しました。当時の所要時間は53分。徒歩で半日かかっていたことを考えると、夢のような速さだったことでしょう。

横浜は港が誕生し、さらに「首都東京」と「海外」を結ぶ鉄道が誕生したことで経由地として大きな発展を遂げてきました。現在は世界に誇れる新幹線が停車する新横浜駅が近くにある篠原西小の子どもたちには6月2日の開港記念日は「やったあ、学校休みだね。」との思いだけでなく、少しだけ100年以上昔の横浜の歴史を感じ、自分の未来を創造して欲しいと思います。